

【平成28年 第2回 定例会一般質問】

川越 信男 議員

- 1 熊本地震について
 - (1) 地震に対する県及び市の対応について
 - (2) 被災者に対する支援策について
 - (3) 新庁舎建設に対する考えは
- 2 南の拠点整備事業について
 - (1) 現在の取組み状況について
 - (2) 事業効果と展開について
 - (3) 基本設計について
 - (4) 住民説明会が実施されたが状況はどうであったか
- 3 「夢の実現 学びの教室」について
 - (1) 「夢の実現 学びの教室」の参加者人数等について
 - (2) 参加した生徒・保護者の反応について
- 4 中央運動公園陸上競技場の多目的グラウンドの改修について
 - (1) 整備に伴う社会資本総合整備交付金の内示について
 - (2) 工事に対する進め方と利用開始時期について
 - (3) 工事の発注形態について

堀内 貴志 議員

- 1 市役所本庁舎の耐震化と新庁舎建設の必要性について
 - (1) 庁舎の耐震化について
熊本地震級の災害に対応できるのか
 - (2) 新庁舎建設の必要性と今後の見通しについて
 - (3) P F I を活用した庁舎建設について
- 2 垂水徳洲会病院の存続について
 - (1) 垂水徳洲会病院の役割と必要性について
 - (2) 市民に与える影響について
 - (3) 病院存続に向けた垂水市の取組みについて
- 3 熊本地震による観光面の影響と今後の対策について
 - (1) 熊本地震による観光面の影響と実情について
 - (2) 旅行や民泊のキャンセルが相次ぐ中で、今後の観光振興対策について
 - (3) 観光復興に向けた支援プログラムについて
～九州への旅行費用を補助する国の補正予算180億円の活用について

梅木 勇 議員

- 1 防災地震対策について
 - (1) 建築物・水道管の耐震化について
 - ア 改修促進するための環境整備は
 - イ 改修計画の目標達成・検証は
 - ウ 水道管は
 - (2) 未整備の改良促進について
 - ア 市有公共建築物・民間特定建築物への対応は
 - (3) 危険ブロック塀への対応について
 - ア 調査・安全指導は
 - (4) 仮設用地の選定について
 - ア 国からの要請は
 - (5) 耐震化に対する支援について
 - ア 補助、周知は
- 2 地域おこし、活性化について
 - (1) これまでの取組みについて
 - (2) これからの推進について
 - (3) 新たな取組みについて
 - ア サイクリングロード、地域おこし協力隊、地域支援員は

感王寺 耕造 議員

- 1 災害時の拠点とデータのバックアップ対策について
 - (1) 市役所使用不可の場合の拠点は
 - (2) データのバックアップについての対策は
- 2 農・水産業の6次産業化について
 - (1) 現在までの取組み状況について
 - (2) 課題（問題点）と対策は
- 3 農地中間管理事業について
 - (1) 加入推進が進まない理由（原因）は
 - (2) 昨年と加入要項が変わったが、その中身は
- 4 防災営農について
 - (1) 被覆資材の張り替え事業について

池山 節夫 議員

市政について

- 1 女性活躍推進法について
 - (1) 垂水市としてのとらえ方について
- 2 障害者差別解消法について
 - (1) 協議会の設置について
- 3 かごしまの農林水産物認証制度（K—G A P）について
 - (1) 取組みについて
 - (2) 第2次垂水市食育・地産地消推進計画（素案）について
- 4 プレミア付商品券について
- 5 南の拠点整備についての市民への説明について
- 6 補助金について
 - (1) 食品衛生協会補助金について
 - (2) 垂水市青色申告会への補助金について
- 7 公民館等の固定資産について
 - (1) 減免について

川畑 三郎 議員

- 1 防災対策について
 - (1) 梅雨入りをしたが、災害対策は
- 2 道路整備について
 - (1) ほ場整備工事後の農道整備は

森 正勝 議員

- 1 (株)垂水DMO(仮称)について
 - (1) 設立の目的と役割について
- 2 垂水市の活断層について
 - (1) 平成25年2月政府地震調査委員会は出水断層帯のほか、新たに甑、市来の両断層が加わり、簡便な評価の対象に3断層が挙げられている。その中に鹿児島湾東縁・鹿児島湾西縁・池田湖西の3つがある。この中の鹿児島湾東縁に牛根地区も入っている。これについての見解を

村山 芳秀 議員

- 1 人口減少対策プログラムと新総合計画づくりについて
 - (1) 国勢調査速報、5月1日の人口数をどうとらえるか
 - (2) 市報3月号市長日記で「大隅横断道路等の開設」に向けて加速度的に事務を進めるとあるが具体的にはどう進めるか
 - (3) 人口減少対策プログラムは凍結をされていると聞くが見直す予定は
 - (4) 新総合計画策定に向けた取組みについて
- 2 垂水市版DMOと観光振興について
 - (1) 垂水市版DMOの加入メンバーについて
 - (2) 東九州自動車道及び大隅縦貫道一部開通の影響について
 - (3) 交流人口200万人を目指す根拠は
- 3 医療・介護施設体制の堅持について
 - (1) 垂水徳洲会病院が廃院になると聞くが、接触があったか
 - (2) 介護施設の募集は牛根地区1か所のみか

北方 貞明 議員

- 1 土地開発公社について
 - (1) 共同店舗の土地明渡しと3店舗との賃貸はどのようになっているか
- 2 環境対策について
 - (1) 浄化槽の普及率は
 - (2) 今年の地元業者に発注5万円上乗せの効果は出ているか
- 3 安心安全について
 - (1) 災害時の生活用水について
- 4 観光事業について
 - (1) 猿ヶ城を基点とした、高隈連山への登山整備について
- 5 瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクールについて
 - (1) 瀬戸コンの成果をどう考えているか。又、垂水市のイメージアップにどう貢献したか。有料入場者は

持留 良一 議員

- 1 熊本地震に学ぶ内容と対策について（防災計画の見直しの必要性）
 - (1) 教訓と課題は、そして取り組む内容は
 - ア 「あらゆることを想定する」危機管理になっているか
 - イ 避難所について
 - (ア) 子どもや障害者や高齢者等「災害弱者」は
 - ウ 耐震化について
 - (ア) 学校
耐震化の基準は問題ないか（国の指針—地震が発生しにくい地域では強度を割り引く）
 - (イ) 病院
震度6以上を想定した耐震基準か
 - (ウ) 住宅
木造住宅—耐震診断への補助は
 - エ 自主防災組織の活性化について
リーダーの育成は
- 2 「南の拠点」について
 - (1) 法の目的と現状の認識について
 - ア 2013年6月に発表された「PPP／PFIの抜本的改革に向けたアクションプラン」（内閣府の特別機関である民間資金等活用事業推進会議が決定した文書）は、「法の本来の目的が必ずしも十分に達成されているとは言い難い状況にある」と指摘。PFIの本来の目的とは何か
 - (2) 住民の立場に立った公共事業での検討が必要では
 - ア 2013年5月「PFI事業の実施状況について」の報告書が提出された（法改定の際、10年以上経過していることに鑑み、この間のPFI事業の実施状況を検証・評価し、国会に報告するとされていた）。この報告で「厳しい財政状況や公共投資の抑制等を背景に、単年度当たりのPFI事業数・事業費は2009年頃より減少傾向にある」と指摘しているが、どのように受け止められるか
 - (3) 地域経済の均衡ある発展のために公共事業に必要な視点とはどのようなものか
- 3 農政～竹林の課題 有効活用と放置竹林対策の必要性について
 - (1) 竹林面積の現状と竹林対策の取組み状況（補助事業等の活用）と課題は

- (2) 放置竹林対策の強化について
 - 他樹種への転換と侵入竹林の現状と対策は
- (3) 新たな用途開発の必要性（バイオマス利用等）は
- 4 「不良な生活環境」を解消するための取組みについて
 - (1) 「不良な生活環境」の相談等の現状と取組みは
 - 「ごみ屋敷」、「動物の多数飼育」等々
 - (2) 他市町村の取組みについて
 - (3) 豊田市等の取組みについての見解と本市の解消対策は（条例の必要性は）
- 5 学校給食センター～学校給食法の本来の趣旨に沿った運営を求む
 - (1) 地方交付税の基準財政需要額算定における「トップランナー方式」導入の検討と学校給食の業務改革の方向についての方針は（民間委託等の検討）
 - (2) 安全で豊かな学校給食のためにも「合理化—民間委託等」は問題であるが見解を

川尻 達志 議員

- 1 道の駅の運営状況について
 - (1) 経営状況について
 - (2) 温浴施設の現状について
 - (3) 考えられる今後の課題について
- 2 南の拠点について
 - (1) 事業の現在の状況について
 - (2) 今後の課題について、どのように総括しているか
- 3 水道施設について
 - (1) 老朽管について
特に国道をまたぐ配管について
- 4 土地開発公社について
 - (1) 現状について

堀添 國尚 議員

- 1 奨学金貸与制度の改善について
 - (1) 貸与金額について
 - (2) 返済期間について
 - (3) 一括返済者への特典は
- 2 旧田中茂穂邸について
 - (1) 受け入れ時の状況について
 - (2) 今後の管理と利活用について
- 3 旧国鉄大隅線について
 - (1) 避難道として管理を考える必要は